



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社W TOKYO 上場取引所 東
コード番号 9159 URL <https://www.w-tokyo.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）村上 範義
問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO兼経営戦略統括局長 （氏名）藤本 冬海 TEL 03-6419-7165
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第1四半期の業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期第1四半期	905	△30.9	62	△73.4	62	△72.8	39	△73.0
2025年6月期第1四半期	1,309	15.3	233	△19.5	231	△19.3	146	△21.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	15.14	14.95
2025年6月期第1四半期	54.01	52.34

（参考）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	調整後営業利益		調整後四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％
2026年6月期第1四半期	102	△62.5	73	△59.3
2025年6月期第1四半期	273	△17.1	180	△17.7

当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後四半期純利益を採用しております。なお、各指標については、後述の「※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項（サマリー情報の参考についてのご注意）」をご覧ください。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年6月期第1四半期	3,028	1,610	53.2
2025年6月期	2,586	1,571	60.8

（参考）自己資本 2026年6月期第1四半期 1,610百万円 2025年6月期 1,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—				
2026年6月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 4,051	% 3.2	百万円 520	% 48.1	百万円 517	% 51.7	百万円 333	% 92.9	円 銭 128.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	2,754,400株	2025年6月期	2,754,400株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	147,909株	2025年6月期	147,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	2,606,491株	2025年6月期1Q	2,707,821株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

（サマリー情報の参考についてのご注意）

当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後四半期純利益を採用しております。これらの指標は、当社の東京ガールズコレクションというブランド価値を活用した社会への価値提供の程度、また当社における経営の効率性を測るためのものとして適切であると考えております。

（調整後利益の計算方法）

調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額

調整後四半期純利益＝税引前四半期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用（※1）

※1 想定税金費用＝法人税等＋商標権償却額×実効税率（課税所得が発生する場合）

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期累計期間（2025年7月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の緩やかな回復があった一方、物価上昇の継続による個人の消費マインドの冷え込みや、資源の価格高騰や賃金水準の上昇によるコスト負担の増加、少子高齢化の進行による労働力不足等により、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境のもと、当社はTOKYO GIRLS COLLECTION（以下、「TGC」という）のブランドを活かした独自のプロデュースノウハウを軸に、ヒト・モノ・コト・地域をさらに輝かせ、その価値を最大化していくことをミッションとして取り組んでおります。

TGCプロデュース領域では、ブランド価値創造の源泉たる事業として2025年9月に「第41回 マイナビ 東京ガールズコレクション 2025 AUTUMN/WINTER」（以下、「マイナビ TGC 2025 A/W」という）を開催し、協賛枠及び来場者チケットの完売等により当社の収益基盤として貢献しました。

また、2025年7月に「Kao presents TGC Jakarta 2025」（インドネシア・ジャカルタ）を開催し、日本国内に限らず海外へと市場を拡大し、ジャパンカルチャーの発信など海外でのニーズに合わせた様々なプロデュース・プロモーションを実施しております。このほか、シティプロモーションとして「“さばえアクション∞” コレクション produced by TGC」（福井県鯖江市）、「EDOGAWA ストリートダンスチャレンジ 2025 supported by LDH JAPAN」（東京都江戸川区）を実施しました。しかしながら、TGC地方開催がなかったなどの影響により、TGCプロデュース領域の売上高は729百万円となりました。

コンテンツプロデュース・ブランディング領域では、イオンフィナンシャルサービス株式会社との事業提携による「TGC CARD」の利用者の決済額等に基づくロイヤリティの受領、株式会社大創産業とのコラボレーション商品の開発に基づくロイヤリティの受領、「TGC teen 2025 Summer」「TGC KIDS フェス 2025」の開催等により、東京ガールズコレクションのブランド力やネットワークを活かして新たな価値を創造することにより収益基盤が多層化しております。当第1四半期累計期間では、アーティスト・タレントのキャスティングとクリエイティブ制作を組み合わせた顧客の商材のブランディング案件は新規契約や既存契約の更新があるものの、クリエイティブ制作の納品時期が第2四半期以降となる案件が多いなどの影響により、コンテンツプロデュース・ブランディング領域の売上高は166百万円となりました。

なお、サービス領域別の状況は次のとおりであります。

サービス領域別売上高

サ ー ビ ス 領 域	2025年6月期 第1四半期累計期間		2026年6月期 第1四半期累計期間		2025年6月期 (前事業年度)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
TGCプロデュース領域	1,021百万円	78.0%	729百万円	80.6%	2,998百万円	76.4%
コンテンツプロデュース・ ブランディング領域	268	20.5	166	18.4	868	22.1
デジタル広告領域	19	1.5	8	1.0	57	1.5
合 計	1,309	100.0	905	100.0	3,925	100.0

あらゆる社会課題や企業・サービスのブランディングのニーズに対して当社が提供できるソリューションは拡大しているものの、人件費の上昇、物価の高騰が継続しております。加えて、「マイナビ TGC 2025 A/W」において、コンテンツの増加やアーティストのキャスティング増加に伴い全体制作費が増加したことから、結果として売上原価率が上昇しました。また、既存従業員の賃金ベースアップの実施や中途採用の拡大など、中長期的な事業成長を見据えた人的資本投資に引き続き注力していることから、販売費及び一般管理費も増加しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高905百万円（前年同期比30.9%減）、営業利益62百万円（前年同期比73.4%減）、経常利益62百万円（前年同期比72.8%減）、四半期純利益39百万円（前年同期比73.0%減）となりました。

また、当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後四半期純利益を採用しております。これらの指標は、当社の東京ガールズコレクションというブランド価値を活用した社会への価値提供の程度、また当社における経営の効率性を測るためのものとして適切であると考えております。

（調整後利益の計算方法）

調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額

調整後四半期純利益＝税引前四半期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用（※1）

※1 想定税金費用＝法人税等＋商標権償却額×実効税率（課税所得が発生する場合）

当第1四半期累計期間の調整後営業利益は102百万円（前年同期比62.5%減）、調整後四半期純利益は73百万円（前年同期比59.3%減）となりました。

当社は、ブランディングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載はしていません。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して442百万円増加し、3,028百万円となりました。これは主に、2025年9月の「マイナビ TGC 2025 A/W」の実施による売掛金及び契約資産623百万円の増加、2025年6月期の法人税等の納付等による現金及び預金131百万円の減少、並びに商標権22百万円及びのれん18百万円の償却による減少によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して402百万円増加し、1,417百万円となりました。これは主に、2025年9月開催の「マイナビ TGC 2025 A/W」の制作費等による買掛金496百万円の増加、未払法人税等40百万円の減少、前受金15百万円の減少、賞与支給等による賞与引当金9百万円の減少、並びに長期借入金28百万円の約定返済による減少によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して39百万円増加し、1,610百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2025年8月14日の「2025年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,844,498	1,713,471
売掛金及び契約資産	143,671	767,471
前渡金	51,115	42,163
その他	54,301	47,762
貸倒引当金	△26,649	△26,649
流動資産合計	2,066,936	2,544,220
固定資産		
有形固定資産	28,332	31,580
無形固定資産		
のれん	84,874	66,687
商標権	271,154	248,558
ソフトウエア	13,589	12,186
無形固定資産合計	369,618	327,431
投資その他の資産	121,116	125,240
固定資産合計	519,068	484,252
資産合計	2,586,005	3,028,473
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,541	595,716
1年内返済予定の長期借入金	112,260	112,260
未払法人税等	66,565	26,075
前受金	171,155	155,716
賞与引当金	18,708	9,174
その他	73,580	73,930
流動負債合計	541,812	972,873
固定負債		
長期借入金	472,870	444,805
固定負債合計	472,870	444,805
負債合計	1,014,682	1,417,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	246,056	246,056
資本剰余金	558,241	558,241
利益剰余金	1,035,944	1,075,415
自己株式	△268,919	△268,919
株主資本合計	1,571,322	1,610,794
純資産合計	1,571,322	1,610,794
負債純資産合計	2,586,005	3,028,473

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,309,580	905,062
売上原価	822,285	587,945
売上総利益	487,295	317,117
販売費及び一般管理費	254,216	255,075
営業利益	233,078	62,041
営業外収益		
受取利息	150	1,822
受取賃貸料	—	1,645
その他	15	460
営業外収益合計	165	3,927
営業外費用		
支払利息	1,877	1,119
賃貸費用	—	1,652
その他	280	395
営業外費用合計	2,157	3,168
経常利益	231,086	62,801
特別損失		
投資有価証券評価損	—	26
特別損失合計	—	26
税引前四半期純利益	231,086	62,774
法人税等	84,848	23,302
四半期純利益	146,237	39,471

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	27,621千円	27,417千円
のれん償却額	18,187	18,187

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ブランディングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載はしておりません。